

平成22年度「福井新元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成23年3月末現在)

「福井新元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成22年4月に知事と合意をした「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成23年3月

土 木 部 長 近 藤 幸 次

I 総括コメント

1 道路交通ネットワークの整備

- 舞鶴若狭自動車道については、一日でも早く開通できるよう、西日本および中日本高速道路株式会社に対して、地域の実情や必要性を強く訴えました。
小浜西・小浜間では、平成23年夏の開通を目指し、舗装工事が進められています。小浜・敦賀間では、平成26年度の開通に向け、全区間で工事が進められています。
- 中部縦貫自動車道については、中部縦貫自動車道全線の早期開通および予算の確保に向け、広く政府、与党等関係者に対し地域の実情や必要性を訴えてきました。
永平寺大野道路の福井北・永平寺西間では平成26年度の開通が示され、また支障物件の移設が進捗しています。永平寺東・上志比間では、浅見(あざみ)トンネル工事が実施されているとともに、用地買収も進捗しています。また、勝山・大野間では、平成24年度の開通に向け、工事がほぼ全面展開されています。大野油坂道路の大野東・和泉間では、地元設計協議が進められています。
- 併せて、県内の主要道路の整備を促進するとともに、既存ストックを有効に活用した橋梁の長寿命化対策、舗装の補修等を進めました。
- これからも、高規格幹線道路の早期整備と既設道路の適切な維持管理により、安全かつ確実な交通の確保を図っていきます。

2 自然災害に対する安全・安心の確保

- 足羽川ダムについては、早期に推進に向けた結論を出すよう国に求めていきます。また、現在検証中の河内川ダム、吉野瀬川ダムについても、早期に県の対応方針を決定し、着実に事業を推進します。大津呂ダムについては、順調に工事を進めており、平成23年度完成を目指します。
- 県内の河川において、洪水に備えた改修を進めるとともに、河道内の流下阻害の恐れのある土砂や雑木等の除去を行い、治水安全度を向上しました。
- 治水対策や土砂災害対策などのハード対策と併せて、老朽化した雨量・水位テレメータシステムを順次更新し確実な情報提供に努めています。また、県内全市町でのハザードマップ作成も支援し、各自治体での避難訓練等で活用されています。
- これからも、自然災害に対する県民の安全安心の確保を図っていきます。

3 県民の生活に密着した快適に暮らせるまちづくり

- 円滑な交通を確保するため、消雪施設の整備を進めたほか、歩行者や自転車に配慮した歩道の整備を行いました。
- 快適な暮らしのため、福井市中心市街地における無電柱化と標識の集約化を図るとともに、激特事業が完了した足羽川において利活用を推進しました。
- これからも、生活に密着した施設を整備し、県民が快適に暮らせるまちづくりの推進を図っていきます。

II 「政策合意」項目に係る結果について

- ・別紙「平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)」のとおり

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>1 経済・雇用対策 ◇ 中小企業の経営支援【部局連携】 ・公共工事の早期発注 公共工事の地元発注、早期発注に努めることで経済・雇用対策の効果を早期に発現するために、平成22年度についても上半期で発注率8割台を確保し、一層の前倒し発注に努めます。併せて公共工事において県産品を積極的に活用するとともに、民間工事での県産品の普及拡大を図るための情報提供に努めます。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>経済・雇用対策の効果を早期に発現するために、土木部と農林水産部で構成する公共工事進行管理会議を5月～10月に開催し、地元発注や早期発注の促進に努めました。 県ホームページに県産品活用事例を122件掲載し、情報提供に努めました。</p>	
<p>平成22年度上半期発注率 80%以上</p> <p>県ホームページの県産品活用事例掲載数 100件</p>		<p>平成22年度上半期発注率 81.5%</p> <p>県ホームページの県産品活用事例掲載数 122件</p>	
<p>・中小企業の新事業展開に対する支援 地域資源(産地技術、農林水産物、観光資源等)の活用や農商工連携により、新商品・新サービスの開発や販路開拓を支援し、県内企業の事業創出を促します。 また、建設業者に対しては、建設業サポートセンターなどを通じて、新たな補助金や融資制度などの各種支援制度を周知し、その活用を推奨することにより、新分野への進出を促します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>「ふくいの逸品創造ファンド」や国の「中小企業地域資源活用プログラム」、農商工連携ワーキンググループ会議などにより、助成金の交付、事業計画のブラッシュアップやアドバイスなどを行い、県内企業の新商品開発や販路開拓を応援しました。 また、建設業については、本年度から創設した建設業新分野進出支援補助金などによる支援を行い、県内建設業者の新分野進出を促進しました。</p>	
<p>地域資源の活用による新規事業数 (平成19～21年度 85事業) 110事業 (25事業の増)</p> <p>うち農商工連携による新規事業数 5事業</p> <p>県の支援策を活用して新分野に進出する建設業者数 10社 (平成21年度 8社)</p>		<p>地域資源の活用による新規事業数 121事業 (平成19～21年度 85事業) (36事業の増)</p> <p>うち農商工連携による新規事業数 5事業</p> <p>県の支援策を活用して新分野に進出する建設業者数 10社 (平成21年度 8社)</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>2 営業力の強化 ◇「ふるさと営業」政策【部局連携】</p> <p>・空き家情報の提供 本県に移住を希望される方や子育て世帯の住まいとして、地域の優良な空き家を活用できるように、空き家の市場化に努め、「ふくい空き家情報バンク」により持ち家および借家の空き家の情報提供を行います。</p> <p>さらに、地域の優良な空き家が有効に活用されるための情報発信のあり方について検討します。</p> <p>「ふくい空き家情報バンク」への新規登録戸数 230戸 (平成21年度末の新規登録戸数 229戸)</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>市町や不動産業者と協力し、本県に移住を希望される方や子育て世帯の住まいに空き家情報を提供しました。県外就農セミナー等に参画し、本県に移住を希望される方などに空き家情報を提供しました。空き家の活用を積極的に取り組むべき地区について、市町と協力して地域の優良な空き家が有効に活用できるように空き家情報バンクを見直します。</p> <p>「ふくい空き家情報バンク」への新規登録戸数 234戸</p>	
<p>3 女性活躍社会 ◇日本一の子育て支援システム【部局連携】</p> <p>・歩行者や自転車に配慮した道路空間の再整備 市街地の中で特に事故発生割合が高く、歩行者や自転車の安全な通行の確保が緊急に求められる地区「あんしん歩行エリア」内の通学路の歩道の新設、拡幅等の整備を進め、安全確保に努めます。</p> <p>また、引き続き、段差解消などを行い、歩行者や自転車などの利用環境の整備を進めます。</p> <p>さらに、点在する観光地や各種施設を自転車で周遊できるよう、既存の自転車道や河川堤防を活用してネットワーク化を図り、自転車走行環境の整備を進めます。</p> <p>あんしん歩行エリア内の整備による安全な通行の確保 40km (平成21年度末 38km) (2kmの増)</p> <p>自転車道のネットワーク化による安全な通行の確保 約94km 永平寺～福井市運動公園～一乗谷朝倉氏遺跡～鯖江市西山公園～JR今庄駅 (約33kmの増) (平成21年度末 約61km) 永平寺町鳴鹿大堰～福井市運動公園～足羽川河川敷(約35km) 鯖江市西山公園～JR今庄駅(約26km)</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>敦賀市川東地区や福井市木田地区など4地区(2km)において、歩道の拡幅や段差解消を行い、安全で安心な通学路の確保を図りました。</p> <p>また、既存の自転車道や足羽川などの河川堤防において、舗装の補修、誘導線や距離案内などの路面標示、案内看板などを行い、サイクリングロードのネットワーク化を図りました。</p> <p>あんしん歩行エリア内の整備による安全な通行の確保 40km (2kmの増) 敦賀市川東地区、福井市木田地区、勝山市元町地区など</p> <p>自転車道のネットワーク化による安全な通行の確保 約94km (約33kmの増) 永平寺～(永平寺自転車道)～福井市運動公園～(足羽川河川敷)～福井市市街地～(足羽川堤防)～一乗谷朝倉氏遺跡、福井市運動公園～(日野川堤防)～鯖江市西山公園～(丹南ふれあいレクリエーションロード)～JR今庄駅</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>4 日本一の安全・安心</p> <p>◇ 自然災害に対する安全・安心の確保</p> <p>【部局連携】</p> <p>・防災意識の向上と避難体制の整備</p> <p>住民の防災意識が高い梅雨や台風の時期を中心に地元説明会を開催することにより、効果的に土砂災害警戒区域の指定を完了するとともに、危険箇所の情報を防災計画に的確に反映するよう市町に働きかけます。</p> <p>また、洪水ハザードマップの一層の周知と活用促進を図るとともに、土砂災害ハザードマップを対象自治会の全ての世帯に配布するよう市町に働きかけることにより、住民の防災意識の向上と避難体制の整備を図ります。</p> <p>避難に必要な情報伝達については、雨量、水位の観測情報や洪水予報情報、土砂災害警戒情報などの防災情報をインターネット、携帯メール等でリアルタイムに配信します。</p> <p>道路防災については、落石や崩壊事故を未然に防ぐため、県内約3,700箇所の斜面を道路パトロールにより監視していきます。</p>		<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>洪水ハザードマップを市町の防災体制に反映させるため、地域住民への周知を図るよう市町に働きかけたことで、各地区でマップを活用した防災訓練が実施され地域防災力の向上が図られました。</p> <p>更に、市町の防災訓練に河川課職員が参加することでより一層の地域防災力の向上を図りました。</p> <p>また、学校教育(副読本)を通して防災意識の向上に取り組みました。</p> <p>土砂災害警戒区域の指定については、説明会を梅雨や台風の時期を中心に開催し、11,590箇所の指定(手続中90箇所を含む)を完了しました。</p> <p>土砂災害ハザードマップについては、全市町へのデータ提供を完了しており、市町において配布した自治会数は約7割となっています。</p> <p>配布した自治会では、住民への警戒区域や避難場所の周知、避難訓練時の活用により、住民の防災意識の向上と避難体制の整備に役立っています。</p> <p>また、災害時要援護者関連施設(166施設)を対象とした説明会を開催し、警戒区域等の周知、市町との連絡体制の確認、土砂災害ハザードマップの配布を行いました。さらに、土砂災害避難マニュアル作成の手引きを作成・配布し、施設ごとの避難マニュアル作成、避難訓練の実施を要請しました。</p> <p>避難に必要な情報を迅速に伝達するため、雨量、水位などの情報を常時インターネット、携帯サイト(メール)で配信しています。</p> <p>交通量2000台/12h以上の重要な路線について週2回程度、道路(斜面)パトロールを実施し、斜面の状況を監視しています。</p>	
<p style="font-size: 1.2em;">{</p> <p>土砂災害警戒区域の指定数</p> <p style="padding-left: 20px;">11,590か所</p> <p>(平成21年度末 9,744か所)</p> <p style="padding-left: 20px;">(1,846か所の増)</p> <p>土砂災害ハザードマップ配布自治会数</p> <p style="padding-left: 20px;">1,269自治会</p> <p>(平成21年度末 367自治会)</p> <p style="padding-left: 20px;">(902自治会の増)</p> <p style="font-size: 1.2em;">}</p>		<p style="font-size: 1.2em;">{</p> <p>土砂災害警戒区域の指定数</p> <p style="padding-left: 20px;">11,590か所</p> <p style="padding-left: 20px;">(1,846か所の増)</p> <p>土砂災害ハザードマップ配布自治会数</p> <p style="padding-left: 20px;">データ提供数 1,267自治会</p> <p style="padding-left: 40px;">(全対象自治会で完了)</p> <p style="padding-left: 20px;">配布済 842自治会</p> <p style="padding-left: 40px;">(475自治会の増)</p> <p style="font-size: 1.2em;">}</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・防災対策の整備促進</p> <p>治水対策が必要な河川については、河床の掘削や護岸整備などの河川改修を実施するとともに、土砂の浚渫を計画的・効率的に行います。</p> <p>また、土砂災害の危険性が高い箇所において、砂防えん堤などの対策工事を実施します。</p> <p>道路の防災対策については、法面防災対策工事を引き続き実施していきます。</p>		<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>県内の1河川について、治水対策が完成しました。浚渫については、補正予算により計画を前倒し、22年度は11.4万m³浚渫を行いました。砂防えん堤などの土砂災害対策工事を21か所で完了しました。道路の法面防災対策工事を22斜面において着手しました。</p>	
<p>必要な治水対策が完成する河川数 7河川 (平成21年度末 6河川) (1河川の増)</p> <p>河川における浚渫促進 24.2万m³ (平成21年度 19.7万m³) (4.5万m³の増)</p> <p>土砂災害対策工事の実施により土砂災害を防止する箇所数 100か所整備 (平成21年度末 86か所整備) (14か所の増)</p> <p>道路法面对策工事に着手する斜面数 9斜面</p>		<p>必要な治水対策が完成する河川数 7河川 (1河川の増:河内川)</p> <p>河川における浚渫促進 31.1万m³ (11.4万m³の増)</p> <p>土砂災害対策工事の実施により土砂災害を防止する箇所数 107か所整備 (21か所の増)</p> <p>道路法面对策工事に着手する斜面数 22斜面</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)
(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・ダム事業の促進</p> <p>足羽川ダムについては、早急に事業の検証を終え、早期に推進に向けた結論を出すよう、関係市と連携して国に強く求めています。</p> <p>大津呂ダムについては、平成23年度完成を目指して、引き続きダム本体工事を進めます。</p> <p>河内川ダム、吉野瀬川ダムについては、道路の付替工事を進めるとともに、必要な検証については速やかに行い、着実に事業を推進します。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>平成22年9月28日、国交大臣から足羽川ダムの検証指示および補助ダムの検証要請がなされました。</p> <p>足羽川ダムについては、12月10日に「足羽川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場(第1回幹事会)」が開催されました。しかしながら、検証を終える時期が不透明なことから、引き続き推進に向けた結論を早期に出すよう、関係市町と連携して強く求めています。</p> <p>大津呂ダムについては、5月21日に定礎式を行い、本格的なダム本体工事を順調に進めており、平成23年度の完成を目指します。</p> <p>河内川ダム、吉野瀬川ダムについては、継続して付替道路工事を進めました。また、10月28日に、各ダムの検証検討会を立ち上げ、有識者の意見も伺い、「ダム継続」との対応方針素案を作成しました。現在、地元説明会やパブリックコメントを実施しており、事業再評価委員会の意見も伺い、県としての対応方針を決定していきます。</p>	
<p>・道路雪対策</p> <p>除雪対策としては、緊急性の高い路線から順次消雪施設を整備するとともに、降雪期前にパトロールを実施し、積雪によって道路に倒れかかるおそれのある木の事前伐採を行い、積雪時の円滑な交通を確保します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>緊急通行車両の通行に支障がある区間などを中心に消雪設備を整備した結果、今年度の大雪においても有効に機能しました。消雪設備の整備のほか、立木の事前伐採などにより、自動車通行の安全を確保しました。</p> <p>また、救急医療機関に福井愛育病院などの周産期母子医療センターを加えた計10病院に至る基幹道路と市町道路について、迅速に救急患者を搬送できるよう、周辺の車道と歩道の除雪強化に努めました。</p> <p>さらに、県と市町の連携した除雪体制を強化するために、県が市町道を、市町が県道を効率的に除雪を実施しました。また、寒波到来前に、冬期道路情報連絡会を設置し、各土木事務所それぞれ6～8回、開催しました。</p>	
<p>消雪設備の整備による円滑な交通の確保</p> <p style="text-align: center;">310km</p> <p>(平成21年度末 302km)</p> <p style="text-align: center;">(8kmの増)</p>		<p>消雪設備の整備による円滑な交通の確保</p> <p style="text-align: center;">310km (8kmの増: 福井鯖江線など)</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・木造住宅の耐震化</p> <p>木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断や補強プランの作成、耐震改修工事に対する支援を、市町と連携して推進します。</p> <p>また、改修に多額の費用を要する古い住宅の耐震化について、人的被害の軽減を優先する経済的・効率的な手法を提案できるよう調査研究します。</p> <p>さらに、県民の耐震化への意識高揚を図る現場見学会の開催や、耐震改修工事の事業者に関する情報をホームページ等で発信します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>木造住宅の耐震診断や補強プラン作成、耐震改修工事に対し、市町と共同して助成しました。</p> <p>さらに、耐震改修工事の現場見学会で住宅耐震化の必要性等を説明したり、今年度新たに事業者名簿をホームページや市町の窓口で情報提供しました。</p> <p>これらにより、耐震診断・補強プランが作成される木造住宅戸数は目標を達成しましたが、耐震化が図られる木造住宅戸数は目標の達成にはいたりませんでした。</p> <p>また、人的被害の軽減を優先する経済的・効率的な手法の調査研究を進めています。</p>	
<p>〔耐震診断・補強プランが作成される木造住宅戸数〕</p> <p>木造住宅戸数 2,289戸 (平成21年度末 2,039戸) (250戸の増)</p> <p>耐震化が図られる木造住宅戸数 120戸 (平成21年度 77戸)</p>		<p>〔耐震診断・補強プランが作成される木造住宅戸数〕</p> <p>2,297戸(258戸の増)</p> <p>耐震化が図られる木造住宅戸数 52戸</p>	
5	<p>高速交通時代のにぎわい交流まちづくり</p> <p>◇ 高速交通ネットワークの整備促進【部局連携】</p> <p>・舞鶴若狭自動車道の整備促進</p> <p>舞鶴若狭自動車道については、未買収の用地の取得を促進するとともに、小浜西・小浜間の平成23年夏の開通予定および小浜・敦賀間の平成26年度の開通予定をそれぞれ一日でも早めるため、高速道路株式会社に強く働きかけます。</p>	〔成果等〕	<p>目標を達成しました。</p> <p>舞鶴若狭自動車道が一日でも早く開通できるよう、西日本および中日本高速道路株式会社に対して、地域の実情や必要性を強く訴えてきました。</p> <p>小浜西・小浜間では、平成23年夏の開通を目指し、舗装工事が進められています。小浜・敦賀間では、昨年7月に中日本高速道路株式会社社長から「できる限り早期の開通を目指したい」との発言が得られ、全区間で工事が進められています。</p>
		<p>〔主な提言活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月13日 第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議 政策提言(Ⅱ) ・7月16日 敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会 提言活動 ・7月22日 敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会 提言活動 ・10月18日 平成23年度予算「元気な日本復活枠」要望に関するパブリックコメントへ意見提出 ・10月20日 第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議 政策提言(Ⅲ) ・12月6日 舞鶴若狭自動車道に関する提言 ・1月7日 舞鶴若狭自動車道に関する提言 <p>舞鶴若狭自動車道の状況</p> <p>小浜西・小浜間 用地買収100%完了 舗装工事着手</p> <p>小浜・敦賀間 用地買収約100%完了 敦賀JCT工事着手</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)
(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・中部縦貫自動車道の整備促進</p> <p>中部縦貫自動車道については、永平寺大野道路の早期全線整備を引き続き目指し、特に未買収の用地の取得を促進するとともに、福井北・永平寺西間の早期着工および平成24年度開通予定の勝山・大野間の工事促進を国に強く働きかけます。</p> <p>また、平成20年度末に事業化された大野油坂道路の大野東・和泉間の早期着工および全線事業化を国に強く働きかけます。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>中部縦貫自動車道全線の早期開通および予算の確保に向け、広く政府、与党等関係者に対し地域の実情や必要性を強く訴えてきました。</p> <p>永平寺大野道路について、福井北・永平寺西間では平成26年度の開通が示され、また支障物件の移設が進捗しています。永平寺東・上志比間では浅見(あざみ)トンネル工事が実施されているとともに、用地買収も進捗しています。また、勝山・大野間では、平成24年度の開通に向け、工事がほぼ全面展開されています。大野油坂道路の大野東・和泉間では、地元設計協議が進められています。</p>	
		<p>主な提言活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月13日 第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議 政策提言(Ⅱ) ・6月30日 中部縦貫自動車道事業調整会議 意見交換 ・9月2日 中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会 提言活動 ・10月18日 平成23年度予算「元気な日本復活枠」要望に関するパブリックコメントへ意見提出 ・10月20日 第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議 政策提言(Ⅲ) ・12月6日 知事・近畿地方整備局長会議(意見交換会) <p>中部縦貫自動車道の状況</p> <p>福井北・永平寺西間 支障物件移設着手済(北陸電力(株)送電線鉄塔移設工事)</p> <p>永平寺東・上志比間 勝山・大野間 浅見トンネル掘削中 中津川高架橋の橋桁架設中</p> <p>大野東・和泉間 地元設計協議着手済</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>◇ 県内の道路交通ネットワークの整備・保全</p> <p>・ 県内主要道路の整備促進</p> <p>県内の主要道路については、高規格幹線道路と連結する基幹的な道路ネットワークを優先し、整備に努めます。事業の執行に当たっては、県民の利便性、効果、効率性、優先度を見極めて県民とのコミュニケーションを十分とりながら進めていきます。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>道づくり協議会などの住民説明会を通じ、住民との意見交換を行い、いただいた意見を事業に反映するよう努めました。</p>	
<p>〔県内主要道路の供用箇所数 21路線 (平成21年度末 17路線) (4路線の増: 国道305号、 帆山王子保停車場線、 殿下福井線、坂本高浜線)〕</p>		<p>〔主要道路の供用路線数 21路線(4路線の増) ・ 県道帆山王子保停車場線(松ヶ鼻トンネル) (越前市向新保町～下平吹町) 6月26日 ・ 県道坂本高浜線 (おおい町石山) 7月13日 ・ 国道305号 越前バイパス (越前町道口～茂原) 7月14日 ・ 県道殿下福井線(日光橋) (福井市下市町～大瀬町) 10月17日〕</p>	
<p>・ 既存の道路ストックの有効活用</p> <p>県が管理する2,362橋(2m以上)の橋梁について、長寿命化修繕計画を策定するとともに、緊急を要する橋梁から耐震、塗装等の予防保全対策を実施します。また、既存の道路敷地を有効に活用して交差点に右折レーンを設置するなど、さらに渋滞緩和を進めます。</p>		<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>橋梁長寿命化策定委員会を10月1日と1月28日に開催し、全橋梁の長寿命化修繕計画を策定しました。この計画では、15m以上の橋梁(715橋)のうち、劣化の著しい橋梁(342橋)について耐震、塗装等の予防保全対策を実施することとしており、今年度までに、104橋の対策を前倒しして実施しているところです。</p> <p>また、県道淵上志比口線(板垣橋通り)の県立病院前交差点などにおいて、車線の幅を見直して右折レーンを確保することにより、新たに10か所で交差点の円滑な通行が可能となりました。</p>	
<p>〔橋梁の長寿命化保全対策 59橋 渋滞を緩和する主要交差点数 40か所 (平成21年度末 32か所) (8か所増)〕</p>		<p>〔橋梁の長寿命化保全対策 104橋 渋滞を緩和する主要交差点数42か所(10か所増) (県道 淵上志比口線(板垣橋通り) 福井市県立病院前交差点 県道 東郷麻生津線 福井市福鉄新駅付近交差点 など)〕</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)
(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>◇ 新幹線時代を迎えるまちづくり【部局連携】</p> <p>・福井駅西口の整備 西口駅前広場については、交通結節機能の向上を図るため、電車やバスが乗り入れられるよう広場の整備を進めます。 また、西口中央地区の再開発については、再開発ビルの全体像をはじめとする課題について、県全体の活性化の視点から事業委員会等を通じ議論し、協力していきます。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>西口駅前広場については、交通結節機能の向上を図るため、引き続き整備を進めていきます。 また、西口再開発については、県全体に関わる重要な事業として応援するため、具体的な県施設案を提示するなど検討を進めました。</p>	
<p>・えちぜん鉄道の高架化 高架による福井駅への乗入れについては、高架の構造、施工方法、都市計画変更の内容等について、国や関係機関と引き続き協議を行い、事業実施に向けた手続きを進めます。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>えちぜん鉄道の福井駅への高架乗入については、新幹線事業と密接に関連することから、現行の高架案を基本に、関係者との協議・調整を進めていきます。</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・福井駅西口地下駐車場の利便性向上 福井駅西口地下駐車場については、管理運営業務推進委員会を通じて指定管理者と緊密に連携し、JR福井駅周辺におけるイベント広報を積極的に行い集客を図るほか、定期券利用の促進、周辺の商店街等との連携により利用促進を図ります。</p>		<p>[成果等] 目標にはいたりませんでした。</p> <p>今年度は、4月に駐車場利用累計50万台達成記念イベントの実施やラジオによる広報を行い、駐車場の認知度の向上を図りました。また、10月には「街なか無料駐車day」として2日間駐車料金を無料とする取り組みを行い、駐車場認知度の向上のほか、駅周辺への来街者の増加、滞在時間の延長を図りました。さらに7月には無料レンタサイクルを設置し、他の駐車場との差別化、利用者サービスの向上を図ったほか、1月には循環型社会の県民活動拠点として、「本のリサイクルボックス」を設置しました。このほか、3周年記念イベントの実施や、「ふくいの越前水仙PR実行委員会」と共同で実施した越前水仙のプレゼント、「地下駐ギャラリー」における保育園児の塗り絵や市町の観光ポスターの展示など駐車場の利用促進に努めました。今後も商店街・百貨店と協働し、一層の利用促進を図ります。</p>	
<p style="font-size: 2em;">{</p> <p>1日平均利用台数 600台) 【チャレンジ目標 620台】 (平成21年度の1日平均利用台数 582台)</p> <p style="font-size: 2em;">}</p>		<p style="font-size: 2em;">{</p> <p>1日平均利用台数 588台</p> <p style="font-size: 2em;">}</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・都市機能集約型のまちづくり 「コンパクトで個性豊かなまちづくりの推進に関する基本的な方針」に基づき、中心市街地の活性化を図るとともに、大規模集客施設等の適正立地に向けた都市計画を策定する関係市町に対し、必要な支援を行います。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。 市町と連携して中心市街地の活性化を図るため、商店街の魅力向上のための取組みを支援するとともに、中心市街地活性化推進協議会を活用して情報交換等を行いました。 また、大規模集客施設の適正立地の誘導を検討している市町に対して、必要な助言を行いました。</p>	
<p>〔コンパクトシティを目指し、郊外での大規模集客施設の適正立地に向けた都市計画を策定する市町数 6市(1市の増) (平成21年度末 5市 (福井市、敦賀市、越前市、小浜市、大野市)〕</p>		<p>〔コンパクトシティを目指し、郊外での大規模集客施設の適正立地に向けた都市計画を策定する市町数 6市(1市(勝山市)の増) (平成21年度末 5市(福井市、敦賀市、越前市、小浜市、大野市)〕</p>	
<p>◇ 敦賀港、福井港の利用促進【部局連携】 ・敦賀港の利用促進 中国航路など定期コンテナ航路の増便を図るとともに、敦賀港国際ターミナル(株)などの関係機関と連携して荷主への集荷活動を強化することにより、外貿コンテナ貨物取扱量の増加を図ります。 また、鞠山南多目的国際ターミナルについては、今秋の本格供用に向けて荷役機械および保安施設等の整備を進め、大型船の入港に対応します さらに、国に対して対岸貿易における敦賀港の優位性をアピールし、重点的な整備を行うよう要請します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。 外貿定期航路の拡充と外貿コンテナ貨物取扱量の増加を目指し、敦賀港国際ターミナル(株)と連携してポートセールスを実施した結果、7月に敦賀-釜山間を結ぶ週2便の国際定期ROR O船航路が就航し、釜山航路が週4便に拡充されました。 また、コンテナ貨物取扱量は前年比91.7%増の15,319TEUと3年連続して増加し、過去最高を更新しました。 鞠山南地区多目的国際ターミナルについては、荷役機械等の整備が完了し、10月から本格供用を開始しました。 また、国に対して、敦賀港が日本海側拠点港および重点港湾に選定されるよう最重点事項として要請し、8月に敦賀港が重点港湾に選定されました。 日本海側拠点港への選定については、国は3月中旬に予定していた公募開始を延期しました。県では、今年3月に敦賀港拠点化計画策定会議で提言をまとめたところであり、今後、国に対して選定を要請していきます。</p>	
<p>〔敦賀港 外貿定期コンテナ航路貨物取扱量 15,000TEU (平成21年 7,991TEU)〕</p> <p>※TEU (twenty-foot equivalent units) : 20フィート(約6メートル) 大のコンテナ</p>		<p>〔敦賀港 外貿定期コンテナ航路貨物取扱量 15,319TEU (平成22年)〕</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>◇ 環境に配慮した社会資本の整備</p> <p>・環境配慮の推進</p> <p>社会資本の整備に当たっては、設計、資材調達および工事実施の各段階で、生態系や景観など環境に配慮した整備の検討、導入を進めるとともに、環境にやさしい福井生まれの建設技術の普及拡大を図るための情報提供に努めます。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>環境配慮型公共工事検討委員会で計画や実施状況を審査し、生物の生息環境や景観などに配慮した工事を実施しました。</p> <p>また、雪対策・建設技術研究所で環境に配慮しコスト削減する工法を開発し、実用化しました。</p> <p>今後とも、計画から資材調達、工事実施等のあらゆる段階で環境配慮の視点を取り入れ、社会資本の整備を進めます。</p> <p>平成22年度から砂防えん堤の残存型枠に間伐材を利用する方針としました。</p> <p>環境配慮型公共工事検討委員会での審査 (H23.1.27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画段階 1事業 (道路整備事業 三国金津線) ・実施状況および完了報告 15事業 (街路事業 戸谷片屋線 ほか) <p>環境に配慮した公共工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残存型枠に間伐材を利用する砂防えん堤数 3基 <p>環境に配慮した新しい技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地中熱を利用した融雪システム 舞若道上中インター(仮称)のアクセス道路に導入 ・薄層舗装工法の開発 半分の厚さで従来同等の強度を有する舗装を越前市で施工 (H22.11.4) <p>福井生まれの建設技術の普及</p> <p>フクイ建設技術フェア(H22.9.29～30)への出展 83団体</p> <p>雪対策・建設技術研究所 研究成果発表会も同時開催</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・福井県汚水処理施設整備構想の見直し 汚水処理施設の未普及地域の早期解消や経営安定化を図る視点から、公共下水道・集落排水施設・合併処理浄化槽の整備を地域の実情に適した組み合わせで行うなど整備構想を改定して、市町の計画的な整備を促進します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>福井県汚水処理施設整備構想の見直しを行い、新構想を取りまとめました。今後はこの新構想により、市町の計画的な施設整備を進めます。</p> <p>〔汚水処理人口普及率 88.8% (H21年度末) →95% (H27年度末目標)〕</p> <p>整備完了時点の汚水処理施設の分担率は下水道82.6%、集落排水等12.0%、浄化槽5.4%となる見込み。(旧構想での分担率は下水道80.9%、集落排水等14.3%、浄化槽4.8%)</p>	
<p>・環境に配慮した良質住宅の普及 国の住宅エコポイントによる環境対応住宅の普及促進をさらに加速するため、県独自に県産材を活用した断熱性能の高い木造住宅の新築や、窓・外壁等の断熱性能を高める改修を支援します。</p> <p>〔窓・外壁等の断熱性能を高める住宅戸数 200戸 (平成21年度 145戸)〕</p>		<p>[成果等] 目標にはいたりませんでした。</p> <p>県産材を活用した断熱性能の高い木造住宅の新築や省エネルギーフォームに対し、住宅エコポイントに上乗せして助成しました。</p> <p>さらに、一般の方を対象とした補助制度説明会や地域工務店の技術力向上を支援する講習会を開催し、住宅の省エネ化の促進に努めましたが、必須条件であるLED照明器具の取替えを行う方が少ないことなどから、目標にはいたりませんでした。</p> <p>来年度は、補助対象要件などを見直し、より利用しやすい制度にしていきます。</p> <p>〔窓・外壁等の断熱性能を高める住宅戸数 103戸〕</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次														
項目		実施結果															
<p>・地域との共動による道路、河川環境の向上</p> <p>地域住民、企業等との共動により、河川での草刈・清掃、歩道内の花の植栽、危険箇所の情報提供を行う「川守」「道守」について、地域ぐるみの継続的な活動が行われるよう促進します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>「川守」「道守」活動への参加促進を図るため、企業、自治会、商店街等の活動をホームページで紹介しました。特に、APECエネルギー大臣会合にあわせて福井市会場周辺やJR福井駅など主要な駅周辺、主要道路沿線を中心に花の植栽活動等が広がりました。</p>															
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">川守参加者数</td> <td style="border: none;">75,500人</td> <td rowspan="2" style="border: none; font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="border: none;">川守参加者数</td> <td rowspan="2" style="border: none;">75,570人</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(平成21年度末)</td> <td style="border: none;">75,053人</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">道守参加者数</td> <td style="border: none;">15,000人</td> <td rowspan="2" style="border: none; font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="border: none;">道守参加者数</td> <td style="border: none;">15,907人</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(平成21年度末)</td> <td style="border: none;">13,724人</td> </tr> </table>		川守参加者数	75,500人	}	川守参加者数	75,570人	(平成21年度末)	75,053人	道守参加者数	15,000人	}	道守参加者数	15,907人	(平成21年度末)	13,724人	<p>地域ぐるみで継続的な活動が行われた事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川での清掃、植栽活動(福井市「菜の花公夢典東安居」など) ・道路植樹樹の除草、花植活動(福井市日之出3丁目など) ・歩道の清掃活動(福井市城戸ノ内町など) 	
川守参加者数	75,500人	}	川守参加者数				75,570人										
(平成21年度末)	75,053人																
道守参加者数	15,000人	}	道守参加者数	15,907人													
(平成21年度末)	13,724人																
<p>・足羽川の利活用の推進</p> <p>激特事業が完了した足羽川の利活用を再生、創出するため、自然保護団体・スポーツ愛好者団体、沿川の自治会・民間企業等に利活用を働きかけるとともに、ホームページ等で活動を紹介するなど広く情報を発信します。また、課題解決プロジェクトチームを編成し、より一層の利活用を推進します。</p>		<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>課題解決プロジェクトチームを4回開催し、関連部局と情報を共有・連携などして新たな取り組みの検討を進め、沿川の団体の「学びの場」・「体験の場」・「スポーツの場」・「憩いの場」・「奉仕の場」として利用を促進しました。また、その活動は河川課ホームページや県の広報媒体(「県からのお知らせ」等)で広報するとともに、新聞、テレビ、ラジオなどにも取り上げられました。</p>															
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">足羽川での団体活動件数</td> <td style="border: none;">24件</td> <td rowspan="2" style="border: none; font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="border: none;">足羽川での団体活動件数</td> <td rowspan="2" style="border: none;">46件</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">【チャレンジ目標</td> <td style="border: none;">30件】</td> </tr> </table>		足羽川での団体活動件数	24件	}	足羽川での団体活動件数	46件	【チャレンジ目標	30件】	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">足羽川での団体活動件数</td> <td style="border: none;">46件</td> </tr> </table>		足羽川での団体活動件数	46件					
足羽川での団体活動件数	24件	}	足羽川での団体活動件数				46件										
【チャレンジ目標	30件】																
足羽川での団体活動件数	46件																

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>6 夢と誇りのふるさとづくり ◇「ふくいランドスケープ構想」【部局連携】</p> <p>・良好な景観の創出 伝統的民家の保存・活用やまちなみ景観の創出を関係部局と連携して進め、良好な景観の創出に努めます。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>・伝統的民家の保存・活用のため、連携して、次のことを行いました。</p> <p>①伝統的民家の集積地区内の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市浅水、杉谷地区の全数調査：358件 ・伝統的民家：38件 ・伝統的民家の認定：28件 (既認定：21件 新規：7件 (土蔵有：4件)) ・土蔵等調査：98件 <p>②既認定の伝統的民家に附属する土蔵等(門、塀)の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市内の調査：30件 <p>・景観に関するセミナーを開催し、県民の景観に配慮する意識の醸成を図りました。</p> <p>8月 景観まちづくりと賑わいの創出の取組み事例報告会の開催(越前市)</p> <p>12月 景観とまちづくりに関するセミナー開催(勝山市)</p>	
<p>・優れた屋外広告物の表彰 周辺景観と調和した屋外広告物の設置を促すため、屋外広告物ガイドラインを周知するとともに、優れた屋外広告物を表彰・公表し、良好な景観の創出を図ります。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>関係団体への訪問、会報等への記事登載を依頼し、ガイドラインを周知しました。</p> <p>景観と調和した優れた屋外広告物を募集し、ふるさと福井景観広告賞として表彰、公表しました。</p> <p style="text-align: center;">(ふるさと福井景観広告賞 9件を表彰(応募86件))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式に併せ、景観とまちづくりをテーマとしたセミナーを開催(12月 勝山市) ・パネル展を7ヶ所で開催 (県民ホール、アオッサ、地下駐ギャラリー等) 	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・ 標識等の集約化と無電柱化の推進 歩道等の整備に合わせ、移設が必要な標識等については、電柱や照明柱と柱の共有化を行い、道路標識等の集約化を図り景観を阻害している標識を減少させます。 また、福井市中心市街地の主要な道路などにおいて、無電柱化を推進します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>歩道や無電柱化の整備に合わせ、移設が必要な標識等について柱の共有化や既存柱への添架等により集約化しました。 また、福井市中心市街地の幹線道路の97%で無電柱化が完成しました。</p>	
<p>（標識の集約化による標識等の減少 8か所 (平成21年度 12か所)</p> <p>福井市中心市街地における無電柱化 97%に拡大 (平成21年度末 95%)</p>		<p>（標識の集約化による標識等の減少 8か所 (フェニックス通り(福井市毛矢)、 県道福井今立線(越前市西庄境町)など)</p> <p>福井市中心市街地における無電柱化 97%に拡大</p>	
<p>・ 景観影響開発の抑制 土砂採取などによる山の切り崩しについて、砂防や土採取など各法令等に基づく規制対象を拡大するとともに、建設発生土利用促進委員会が中心となって、建設残土、河川等の浚渫土の公共工事間での再利用、公募による民間利用を拡大し、景観に影響を及ぼす開発を抑制します。 また、開発関連要綱等に基づき跡地の緑化を推進します。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>福井県砂利採取法事務取扱要綱に基づき、新たな採取場の認可にあたり緑化計画書の作成を指導しました。開発跡地の緑化に向け、引き続きパトロールによる確認と指導を実施します。 国、県、市町の発注者間で建設残土の利用調整を行うとともに、中長期の大規模プロジェクトについても、計画段階からの課題を把握し、事業計画策定時に建設残土の工事間利用が円滑に行われるよう調整することとしました。 山の切り崩しを制限する砂防指定地等の指定(10か所)がされました(累計2,277か所)。</p>	
		<p>（建設残土の民間における利用量 約20,000m³(H18)⇒約29,500m³(H22) (平成21年度 23,700m³)</p>	

平成22年度 政策合意項目に係る実施結果報告(土木部)

(平成23年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	土木部長	氏名	近藤 幸次
項目		実施結果	
<p>・街なみ環境の改善 街なみ環境整備計画に基づいて市町が実施する、建物の外観の改善、道路の改良等に対し、適切な助言を行い、良好な事例を紹介するなどの支援を行います。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。 坂井市三国湊町地区、大野市城下町地区において、歴史あるまちにふさわしい店舗の外観修復、道路の改修などの支援を行いました。</p>	
<p>街なみ環境の改善が図られる地区数 2地区 (平成21年度 2地区) (坂井市三国町湊町地区、大野市城下町地区)</p>		<p>街なみ環境の改善が図られた地区数 2地区 坂井市三国町湊町地区 ・住宅の外装を板張りに美装化など 大野市城下町地区 ・塀、通路、小公園の整備など</p>	
<p>7 行財政構造改革 ◇ 土木3公社の整理合理化 ・公社合理化の実行 平成22年度末解散に向け、住宅供給公社および土地開発公社の円滑な解散を進めます。また、土地利用促進チームを編成して、住宅供給公社の未分譲宅地の販売や土地開発公社の保有土地の民間企業等への売却を精力的に推進し、新たな利活用策についても早期に検討、実施します。 また、道路公社においては、解散を含めそのあり方について検討します。</p>		<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。 予定どおり3月31日に両公社は解散しました。 ・両公社保有の土地については、土地利用促進チーム会議を9回開催し、売却を進めてきました。 その結果、土地開発公社については、福井警察署建設事業地1箇所を売却しました。また住宅供給公社については、あけぼの団地9区画を販売し、あけぼの団地は完売しました。 今後とも土地利用促進チームを中心に全庁体制で土地売却や利活用の検討を続け、県財政の負担が軽減が図られるよう全力で取り組みます。 道路公社においては、法恩寺山、三方五湖有料道路において、ゴールデンウィーク、夏休み期間中およびスキーシーズンである1・2月の土・日・祝日の通行料金半額や、地域内の観光施設や協賛店でのサービスなどの利用促進策を実施しました。 また、道路公社のあり方については、収支の将来予測、事務組織体制の見直し、地元関係者との意見交換、全国調査などを行った結果、累積債務の削減に努めながら、平成34年9月まで存続させることとしました。</p>	
<p>住宅供給公社未分譲宅地の販売区画数 31区画 (平成21年度 14区画)</p> <p>土地開発公社の保有土地売却・利活用数 3件 (平成21年度 0件)</p>		<p>住宅供給公社・土地開発公社を円滑に解散</p> <p>住宅供給公社未分譲宅地の販売区画数 13区画</p> <p>土地開発公社の保有土地売却・利活用数 1件</p>	